

平成26年度
学校給食用牛乳びんの導入支援に向けた
モデル事業の概要

平成26年度学校給食用牛乳びんの導入支援に向けたモデル事業

- 平成25年度に引き続き、学校給食用牛乳びん(以下学乳びん)の導入を検討する自治体(またはそれを支援する団体)の支援を行うモデル事業を実施する。
- 平成26年7月7日(月)から平成26年7月31日(木)まで募集したところ、全国から3件の応募があり、主体性、自立性、発展性・波及性、独自性、関係者との連携といった観点により検討した結果、3件を選定。平成26年10月から実施。

	申請代表者・実施地域	事業概要
1	びん再使用ネットワーク (東京都)	<p>「学乳びん導入支援プロジェクト」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度の成果・結果を踏まえて、都内学校での学乳びん導入可能性を検討する。 ・都内の3つの学校の協力を得て、学乳びんの試飲会を開催、教師・生徒・栄養士等へのアンケート・ヒアリング調査を実施し、学乳びん導入可能性を検討、コストや物流システムなどの検討を含め、導入に向けた支援を実施。 ・各学校との調整や試飲会においては、「学乳びん導入支援パンフレット」を用いて、学乳びんの特徴等を説明。
2	かながわ環境カウンセラー協議会 (神奈川県)	<p>神奈川県内での学乳びん導入に向けた関係構築、導入促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で学乳びんを採用している市町村はごく一部に限られている。現在、紙パックを使用している小学校の協力を得て、びん牛乳の試飲会を開催、教師・生徒・栄養士へのアンケート・ヒアリング調査等を実施し、学乳びんの導入可能性を検討、導入に向けた支援を実施。 ・また、新たに学校給食を開始しようとしている市町村教育委員会との意見交換等を通じて、学乳びん導入可能性を検討。本モデル事業を通じて、関係者とのネットワークを構築、導入に向けての基盤を構築する。
3	大和びんリユース推進協議会 (奈良県)	<p>奈良市における学乳びんの導入促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良市教育委員会の協力を得て、学校長宛に学乳びん導入に関するアンケート調査を実施。アンケート調査を踏まえ、ヒアリング調査を実施する。 ・また、近隣乳業メーカーにおける供給体制等について実態調査を行う。 ・これらの実態調査の結果を踏まえて学乳びん導入の条件を整理とともに、関係者による意見交換会を開催、導入に向けた具体的な検討、導入支援を行う。

「学乳びん導入支援プロジェクト」

- 平成25年度に引き続き実施するモデル事業(2年目)
- 昨年度の成果・結果を踏まえて、都内の学校での学乳びん導入可能性を検討。都内の3つの学校の協力を得て、学乳びんの試飲会を開催、教師・生徒・栄養士等へのアンケート・ヒアリング調査を実施し、学乳びん導入可能性を検討、コストや物流システムなどの検討を含め、導入に向けた支援を実施。
- 学識者(大阪教育大学 名誉教授 鈴木善次氏)、乳業メーカー、流通事業者、市民団体とプロジェクトを形成、月1回程度の会合を開催し推進する。
- 各学校との調整や試飲会においては、「学乳びん導入支援パンフレット」(2013年度作成)や「びん牛乳PRチラシ」(2014年度作成)を用いて、学乳びんの特徴等を説明する。

事業名称	学乳びん導入支援プロジェクト
申請代表者	びん再使用ネットワーク
推進体制	学識者、乳業メーカー、流通事業者、市民団体等と連携
実施地域	東京都内
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の成果・結果を踏まえて、都内の学校での学乳びん導入可能性を検討。 ・びん牛乳の特徴を整理したパンフレットを作成し、都内の教育委員会・個別の学校との意見交換を通じて、学乳びん導入に関心があり、試飲会等に協力いただける学校と協議・調整。 ・びん牛乳の試飲会を開催し、教師・生徒・栄養士等へのアンケート調査・ヒアリング調査を実施、導入可能性を検討する。
本年度の 具体的取組 (予定)	<p>都内の教育委員会、小中学校に対してびん牛乳への切り替えの提案 都内3つの学校を対象に、びん牛乳の試飲会及び教師・生徒・栄養士等へのアンケート調査・ヒアリング調査(11月に実施) 導入可能性の検討、コストや物流システムなどの検討を含め、導入支援 / など</p>

神奈川県内での学乳びん導入に向けた関係構築、導入促進事業

- 神奈川県内で学乳びんを採用している市町村は足柄上地域のごく一部に限られている。現在、紙パックを使用している小学校の協力を得て、びん牛乳の試飲会を開催、教師・生徒・栄養士へのアンケート・ヒアリング調査等を実施し、学乳びんの導入可能性を検討、導入に向けた支援を実施。
- また、新たに学校給食を開始しようとしている市町村教育委員会との意見交換等を通じて、学乳びん導入可能性を検討。県内乳業メーカーの供給能力、各学校での保管庫等の対応、他の地域での導入事例などを調査、情報提供しつつ提案。
- 本モデル事業を通じて、関係者とのネットワークを構築、導入に向けての基盤を構築する。

事業名称	神奈川県内での学乳びん導入に向けた関係構築、導入促進事業
申請代表者	かながわ環境カウンセラー協議会
実施地域	神奈川県内
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県内足柄上地域の各教育委員会とのヒアリング・意見交換を通じて、びん牛乳・紙パック牛乳の導入状況について調査。びん牛乳の導入に関心のある教育委員会の協力を得て、試飲会を実施、教師・生徒・栄養士等へのアンケート調査・ヒアリング調査を通じて導入提案を行う。 ・また、新たに学校給食を開始しようとする市町村教育委員会との意見交換を通じて、びん牛乳導入の提案を行う。
本年度の 具体的取組 (予定)	<p>県内足柄上地域の各教育委員会へのヒアリング調査・意見交換 紙パックを利用している学校に対してびん牛乳への切り替えの提案、びん牛乳の試飲会の実施、教師・生徒・栄養士等へのアンケート調査・ヒアリング調査(12月に実施) 県内乳業メーカーにおけるびん牛乳供給可能性の調査 新たに学校給食を開始しようとする市町村教育委員会等との意見交換を通じた学乳びん導入の提案(保管庫等、他の地域での導入事例、LCAデータ収集など) / など</p>

奈良市における学乳びんの導入促進事業

- 奈良市においては平成26年度より学校給食を開始した中学校4校においてびん牛乳を導入した経緯があり、この事例をもとに更なる導入可能性を検討する。
- 奈良市教育委員会の協力を得て、学校長宛に学乳びん導入に関するアンケート調査を実施。アンケート調査を踏まえ、ヒアリング調査を実施する。
- また、奈良地域に供給可能な近隣乳業メーカーにおける供給体制等について実態調査を行う。
- これらの実態調査の結果を踏まえて学乳びん導入の条件を整理とともに、関係者による意見交換会を開催、導入に向けた具体的な検討、導入支援を行う。

事業名称	奈良市における学乳びんの導入促進事業
申請代表者	大和びんリユース推進協議会
推進体制	協議会は、座長が奈良県立大学 地域創造学部 教授 西田正憲氏、事務局長にWorld Seed 中島光氏、幹事として、自治体(奈良市、生駒市)、奈良県地球温暖化防止活動推進センター、NPO法人奈良ストップ温暖化の会が参画。 奈良市教育委員会の協力を得て実施している。
実施地域	奈良市内
事業概要	・奈良市教育委員会の協力を得て、学校長宛に学乳びん導入に関するアンケート調査を実施。また、奈良地域に供給可能な近隣乳業メーカーにおける供給体制等について実態調査を行う。 ・これらの実態調査の結果を踏まえて学乳びん導入の条件を整理とともに、関係者による導入検討会議を開催、導入に向けた具体的な検討、導入支援を行う。
本年度の 具体的取組 (予定)	奈良市内の各給食実施校長宛にアンケート調査を実施、現状での利用容器、選定理由、処理・リサイクルの現状等について把握する。 アンケート調査を踏まえて、乳業メーカー、学校関係者、保護者会等に対するヒアリング調査を実施 意見交換会を開催し、学乳びん導入に向けた課題整理・解決方策の検討 / など